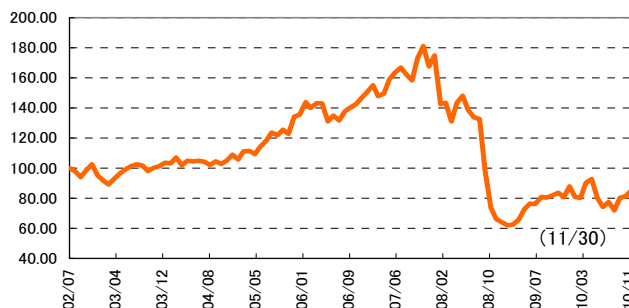


グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	4.43%	18.01%	5.83%	5.11%	▲49.43%	▲36.90%	▲15.29%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	4.56%	18.40%	6.64%	6.71%	▲44.63%	▲28.90%	▲1.95%

特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・その他	48	0.4
預金	10,850	99.6
投資信託		
合計	10,899	100.0

グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

<基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	4.58%	18.57%	6.72%	6.83%	▲47.16%	▲6.28%
MSCI ワールドインデックス	2.43%	10.44%	2.59%	1.85%	▲42.64%	▲8.78%

*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

<株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	48.9%
2	イギリス	11.7%
3	香港	5.2%
4	ドイツ	5.2%
5	日本	4.7%

<株式組入上位10銘柄(銘柄数79)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	3.4%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.7%
3	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.9%
4	EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	1.9%
5	DAIMLER AG	ユーロ	自動車・自動車部品	1.9%
6	INGERSOLL-RAND PLC	アメリカドル	資本財	1.7%
7	GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカドル	資本財	1.7%
8	PRICELINE.COM INC	アメリカドル	小売	1.6%
9	GOOGLE INC-CL A	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.6%
10	NEWS CORP-CL A	アメリカドル	メディア	1.5%

<資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	4.7%
2	外国株式(先物含む)	93.8%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	1.6%

<運用コメント>

米国市場は、米国連邦準備制度理事会(FRB)の追加金融緩和の規模が市場予想を上回ったほか、10月の雇用統計の底堅い内容を受けて上昇して始まり、約半年ぶりに年初来高値を更新しました。その後、米ハイテク大手の軟調な業績見通しや中国の利上げ警戒感などから下落基調に転じましたが、中旬以降は、個人消費関連の底堅い経済指標の発表などを好感する一方、欧州の金融・財政問題の拡大への懸念が高まったことなどから、狭いレンジでもみ合いました。欧州市場は、米国や中国の堅調な経済指標やFRBの追加金融緩和などを好感し、上昇して始まりまし。中旬以降は、業況感の改善を好感したドイツ市場を除き、アイルランドの債務危機がユーロ圏諸国に波及するとの懸念や中国の金融引き締め強化を受け、銀行および資源セクターを中心に軟調に推移しました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、一般消費財・サービスセクターの銘柄などを積み増した一方、生活必需品セクターの銘柄などを一部売却しました。一般消費財・サービスでは、フランスのホテル経営会社を新たに組み入れました。同社は、業界全体での供給不足と需要の急回復でホテル業界が価格支配力を取り戻したことを背景に、安定した客室当たり収入の伸びから恩恵を受けると見えています。生活必需品セクターでは、欧州の緊縮財政が逆風となることから、オランダのビール製造大手を一部売却しました。

11月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、資本財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのはヘルスケア、生活必需品です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項—大切なことから」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。